

17号
2010

6月議会号



議会だより

東みよし

暑い夏!
ブラスの夏!
三好中学校
(ブラスバンド部)

主な内容

- 加茂小学校体育館
ミヨシキャスティングが落札 3
- 三好庁舎パソコン交換65台 4
- 一般質問に5人登壇 8

6月定例会は、6月8日から18日までの11日間の会期中に開催しました。

この議会では、専決処分の承認のほか、平成22年度の一般会計補正予算、条例の改正、工事請負契約の締結など、合計12議案を審議し、いずれも原案の通り可決しました。

また、副町長には、田岡孝義氏が再任され、一般質問には5名の議員が登壇して町政の課題、将来への展望について幅広く活発な質問を展開し、町の考えをただししました。

オアシス太陽光発電パネル等

設置工事に900万円



太陽光発電パネルが設置される新館みのだ亭



LEDにかわるステージ照明

徳島県のグリーンニューデール戦略支援事業、公共施設省エネ・グリーン化推進事業を利用して、吉野川ハイウェイオアシス内の別館みのだ亭屋根に太陽光発電パネル24枚(4kW発電相当)設置、ふれあい館の丸天井(吹き抜け部分)と屋外ステージ天井に

LED投光器(500W級)41基を取り付けます。環境にやさしい設備を設置することにより、温室効果ガスの排出削減に取り組むとともに、自然エネルギーの活用や地球温暖化防止に向けた取り組みの重要性を教育、啓発する事業です。全額徳島県の補助金で賄います。

人事案件に同意

副町長



た おか たかよし 田岡 孝義氏

副町長の任期満了にともない、現職である田岡孝義氏(西庄・60歳)を再任することに同意しました。任期は4年です。

補正

6月定例会に提案された平成21年度と平成22年度の各会計の補正予算は次の通りです。

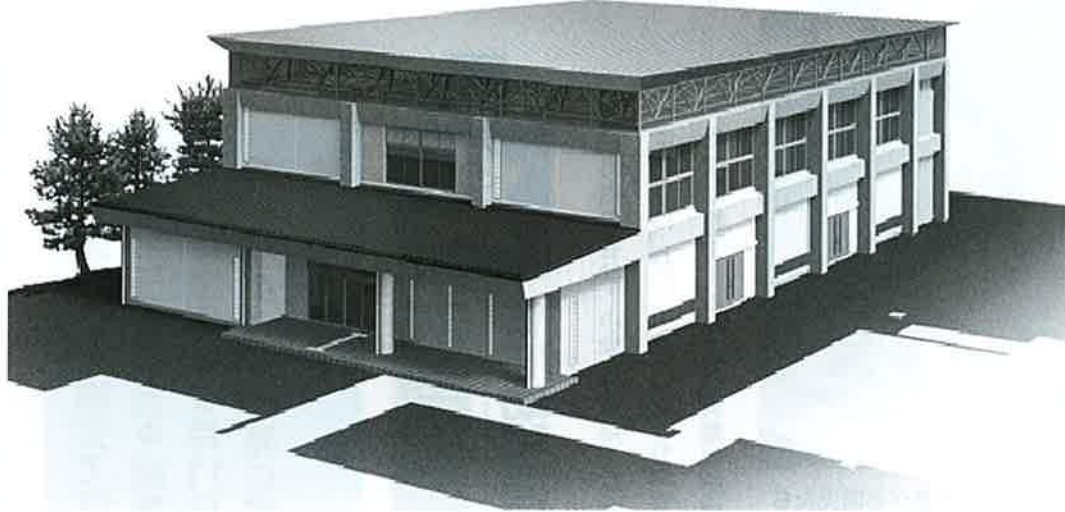
平成21年度

会計名	補正額	総額
一般会計(第15号)	7,278万5千円	99億6,838万2千円
特別会計		
国民健康保険事業(第3号)	3,720万5千円	13億4,276万9千円
老人保険事業(第2号)	▲1,976万6千円	2,125万9千円
簡易水道事業(第3号)	0	1億1,510万7千円
公共下水道事業(第4号)	▲1,078万2千円	3億4,726万7千円
後期高齢者医療事業(第2号)	▲1,987万8千円	1億4,166万4千円
三加茂財産区(第1号)	58万4千円	58万6千円

(▲印は減額)

平成22年度

会計名	補正額	総額
一般会計(第1号)	3億4,703万5千円	78億5,914万6千円
特別会計		
国民健康保険事業(第1号)	576万8千円	12億74万円
老人保険事業(第1号)	276万円	349万円
簡易水道事業(第1号)	0	1億4,158万8千円
水道事業(第1号)	105万円	9,273万2千円



加茂小学校体育館完成予想図

加茂小学校体育館改築工事 (株)ミヨシキャスティングが落札



地鎮祭(7月6日)

1億8,952万5千円

- 契約名 平成22年度都市再生整備事業
加茂小学校体育館改築工事
- 契約方法 指名競争入札(6社)
- 契約先 (株)ミヨシキャスティング
代表取締役 国安一光
- 構造 鉄筋コンクリート造り
- 延床面積 864,4㎡
- 工期 平成22年6月19日～
平成23年2月24日

まちづくりシンポジウム事業に96万6千円

東みよし町がまちづくりを推進するためには、その地域が歩んできた歴史の中で育まれてきた自然環境や社会環境、そして何よりも精神的な拠り所を大切にすることが必要です。また、魅力のあるまちづくりには、住民の参加が不可欠であり、そのためには、住民の心の拠り所となる地域のシンボルを守り、育んでいく活動が重要となります。そこで、平成22年11月6日(土)、午後より吉野川ハイウェイオアシス2階 多目的ホールにおいて(仮称)東みよし町まちづくりシンポジウムを開催します。このシンポジウムでは、住民の理解を深めることを目的として、従来の文化財だけではなく、総合的な景観や、形のない無形の文化遺産、民話・伝説などの潜在的な物語などを発掘、活用していくことの重要性に関して、大学研究者の講演及びディスカッションなどを行います。



町のシンボル加茂の大クス

陳 情

陳 情 の 名 称	代 表 者	結 果
生活保護の老齢加算の復活を国に求める陳情書	徳島県生活と健康を守る会連合会 会長 貞元 敏之	継続審査

東みよし町議会では、教育厚生、総務、産業建設の3常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案を6月11日、14日、16日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。その主な内容を報告します。

教育
厚生

食 器消毒保管庫に30万円 昼間幼稚園児の食育教育に

町内の各幼・小学校では、給食の後、食器を載せるお盆だけは、自分で洗ってから保管をしています。しかし、昼間幼稚園だけが食器消毒保管庫のない状態で、給食センターに持ち帰ることを余儀なくされています。今回、食育教育、衛生面から殺菌ができる食器消毒保管庫を購入します。



給食を食べる園児たち



食器消毒保管庫

産業
建設

森

林環境保全整備事業に1,797万円 スギ、ヒノキ、マツの保育に

苗木の育成
水土保全、土砂崩れ防止、二酸化炭素吸収などの多面的機能を有する人工林の保育のための事業です。スギ、ヒノキ、マツなどの人工林は、ブナ、ナラなどの天然林とは違い、人が手を加えることにより生育が可能となります。今回、森林組合が町内の申請のあった森林の下刈り15ヘクタール、除間伐25ヘクタール、枝打ち12ヘクタールなどを行います。財源は、国68%、森林所有者32%の負担で行います。

苗木の育成

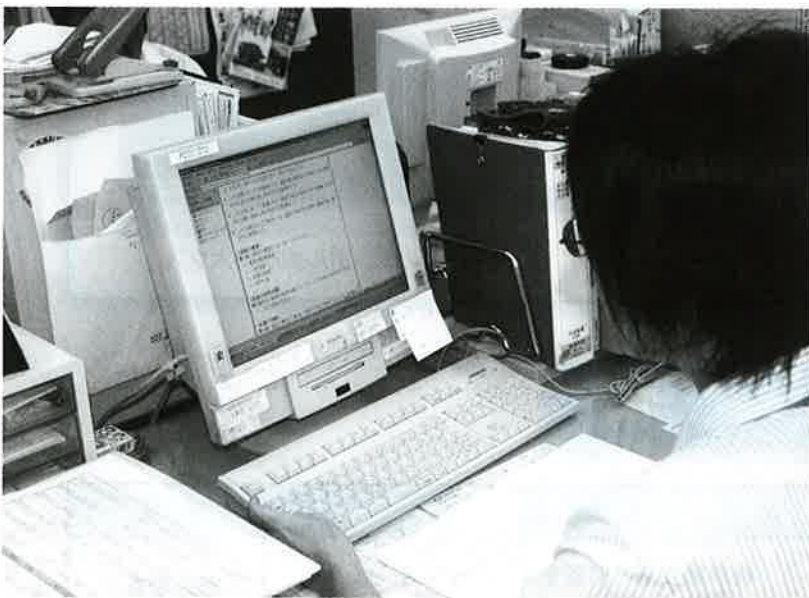


教育
厚生

パ

ンコン65台買い換えに100万円 老朽化、新ソフトに対応

三好庁舎、教育委員会（ソフト）は、発売後10年以上の年月が経ち、メインサポートは既に終了しています。そこで、現在の情報系ネットワークのサーバーやソフトに対応する新しいパソコン65台を購入します。



三好庁舎で使っているパソコン

新

型インフルエンザ対策に 加湿、空気清浄機を保育所に

昨年、みのり乳児園、みのだ保育園は、季節性インフルエンザに加え、新型インフルエンザなどの感染症の拡大によって、保育所の各種イベントの自粛を余儀なくされました。空気清浄機、加湿器を設置することで、ウイルス性の感染症の蔓延を防止し、安心、安全な保育を実施することができず。また、地域子育て拠点事業の実施や地域住民や保護者間の交流を促進するなど、保育所を中心としたコミュニケーションの活性化が期待できません。総事業費は、12万1,000円。



元気に遊んでいる子どもたち(みのだ保育園)

保育所名	園児数	保育士数	機器台数	金額
みのり乳児園	59名	14名	空気清浄機 12台 加湿器 10台	107万1,000円
みのだ保育園	70名	9名	加湿機能付き空気清浄機 3台	15万円



現在の谷門橋

谷

門橋改築工事

町負担金3,000万円

国土交通省を事業主体として、現在工事が行われている吉野川堤防整備事業。この事業で、吉野川支流の山口谷川に架設されている谷門橋が約100m下流側に移設されます。この谷門橋は、現在は幅員4mで架設されています。国土交通省を事業主体として、今回の移設改築に伴い車両が対向可能な幅員5mに拡張される計画で、移設改築事業費およそ1億5,000万円のうち、幅員拡張による改良費用3,000万円を町が負担するものです。

地

域福祉計画策定に295万円

多様化する福祉ニーズに対応

東みよし町では、人口の減少とともに少子高齢化が進行し、平成29年の高齢化率は、32.5%に達することが予想されています。超高齢化社会への対応をはじめ、多様化する福祉問題を解決していくためには、高齢者福祉、障害福祉、児童福祉といった従来の「枠組み」を超えた“施策の総合化”の視点のもと、地域住民、社会福祉事業法人、民間団体、行政が協同で福祉に取り組む「パートナーシップ型の福祉」の具体化が必要です。そのために、住民のさまざまなニーズに対応する地域福祉計画を策定します。



住みやすい町に

下水道等環境問題

特別委員会

下水道等環境問題特別委員会

委員長 中川 祐司

加入率の向上に努めよ

効率的な施工を

加

平

成21年度末現在で、三好処理区における認可区域内の管渠布設工事の整備率は87%、延長にして30.3kmに達し、このまま順調に施工がすすめば、あと4~5kmで認可区域内の整備はほぼ完了することです。加入率については、平成21年度末で約60%に達しています。また、平成19年度から三好浄化センターの汚水処理量が1日当たり/最大量1,010m³を超える日がでてきたため、2基目の処理場の増設に着手し、平成21年12月に竣工。現在2基の処理場が稼働していて、その処理能力は1日最大2,020m³となっています。



三好浄化センター

委

員の中から、いろいろな意見がたされ、担当者から「まず認可区域の拡大については、認可区域内で80%以上整備されていれば拡大できる。また、下水道料金は将来の改築更新費用の積立などを考えれば、どこかで料金アップをしなければならぬ。ポンプの故障については、今のところ大きな故障はな

く、稼働時間の長いポンプについては、定期的なオーバーホールをし、できるだけ長い期間故障なく使用できるように努めている。三加茂地区の汚水を三三大橋を渡して三好の浄化センターで処理できるかについては、可能だけれども大規模ポンプ場の建設や、処理場までの新たな圧送管の埋設、処理方法も維持管理コストの高い処理方法を選択しなければならず、できるだけ三加茂地区で終末処理場を建築し、自然流下を利用した管渠の布設をするべきであるとのこと。平成21年度の一般会計からの繰入金は、1億5,000万円而起債の元利償還に約1億2,000万円当てられ、その内約7,700万円程度の交付税措置があった。平成22~23年度は、21年度と同程度の金額を繰り入れる予定だが、平成24年度からは起債の元

利償還が減少し始めるため、繰入額も減少していく見込み。事業規模拡大については、町の考えとしては、コストダウンの努力はしつつも、ゴミの処理と同じく下水の処理も赤字であってもある程度全体的にやっつけていかなければならない事業であると認識している。」という答弁がありました。

三

好地区の認可区域の拡大のみならず、未着工の三加茂地区の汚水処理事業をどのように進めていくかなど、合併浄化槽や農業集落排水等その他の処理方法も含めた、全体的な計画の見直しの時

期にきていると思えます。同時に、既に施工済みの管渠における未接続者の加入を促進し、さらなる加入率向上にむけて努力していかねばなりません。また、設計段階で関係者に説明をし、接続していただけるかしっかりと確認してから工事発注するなど、未接続を限りなく少なくし、効率的な施工をするように要請しました。



2基目の浄化処理施設

三好東部火葬場管理組合議会

議長に安宅 博氏
副議長に千葉清春氏

東みよし町（旧三好町・三加茂町）と三好市（旧三野町・井川町）で構成する三好東部火葬場管理組合議会の臨時会が5月20日に開催されました。この臨時会では、新しく選出された4名（東みよし町2名・三好市2名）の組合議会議員による議長・副議長選挙が行われ、議長には、安宅博氏（東みよし町屋間）が、副議長には千葉清



三好東部火葬場

春氏（三好市三野町）が選ばれました。また、組合議会の監査委員には、加藤義博氏が選ばれました。

三好東部火葬場管理組合の平成22年度の予算総額は、1,466万4,000円で、東みよし町の負担金は、586万4,000円です。

自治体名	議員名
東みよし町	安宅 博
	加藤 義博
三好市	千葉 清春
	宮内 明治

みよし広域連合議会

議長に木下善之氏
副議長に安宅 博氏

みよし広域連合議会（東みよし町と三好市で構成）臨時会が、5月28日に開催され、新しく選出された議員（東みよし町4名・三好市4名）による議長・副議長選挙が行われ、議長には木下善之氏（三好市池田町）が、副議長は安宅博氏（東みよし町屋間）が選ばれました。議員から選

ばれる監査委員には、長谷川吉正氏（東みよし町加茂）が選出されました。

みよし広域連合の平成22年度の一般会計予算総額は、17億4,824万7,000円で、東みよし町の負担金は、4億5,915万7,000円です。

自治体名	議員名
東みよし町	安宅 博
	長谷川 吉正
三好市	木下 善之
	山子 凱雄

平成21年

吉野川オアシス決算

40万9千円の黒字

東みよし町が、95・2%出資する吉野川オアシス(株)。6月18日の議会閉会日に、吉野川オアシス(株)の決算報告書が川原町長より議会に提出されました。

報告書によると、第9期（平成21年1月1日から12月31日）の当期利益は、40万9,864円の黒字となっています。昨期は、原油高や2階のレストランをオアシスの直営としたために、883万円の赤字となりましたが、厳しい経済状況の中、入場者、物産売り上げ、風呂売り上げなど昨期より減少しているにもかかわらず、わずかながらの黒字に転じています。これは職員の経営努力によるものが大きいと思われます。

吉野川ハイウェイオアシス

5 議員

13項目の質問を行い、町の考えをたずねました。

まちの考えを問う



はせがわ よしまさ
長谷川 吉正 議員

町長

平成23年度の職員採用計画はあるのか。

平成23年度の職員採用計画は、現在182名の職員がいるが、今後6年間で退職者は約60名の予定だ。単純に引くと122名となり、140名を確保する場合には、18名の採用が必要になる。今後の仕事量（事務移譲・地方分権）を考え、本年、第2次の行革委員会を

用については、7月に広報等で周知をして、9月に採用試験を実施し、来年4月1日付けで採用をしたい。人数については、最終的にはまだ決定していないが4名から5名になる予定だ。合併協議会での職員定数管理は、10年後140名の職員を目指す決定をしている。合併後4年が経ち、現在182名の職員がいるが、今後6年間で退職者は約60名の予定だ。単純に引くと122名となり、140名を確保する場合には、18名の採用が必要になる。今後

町長

今後、行革委員会で再検討し、これから6年間のしっかりと計画を待って、その内容についてはある程度公表したい。合併10年後の職員数もある程度出す時期とも思っている。

長谷川

合併後の職員採用については、合併協議会の中で合併後10年間は、6名退職で1名採用の方針を決定している。合併後の4年間で、新規採用を4名しているが、来年度に新規採用を実施するのか。また、合併後10年間で定年退職を迎える職員が約90名いる。合併協議の6名退職1名採用方針でいくと、15名の新規採用が必要となる。後11名の採用計画はあるのか。

用については、7月に広報等で周知をして、9月に採用試験を実施し、来年4月1日付けで採用をしたい。人数については、最終的にはまだ決定していないが4名から5名になる予定だ。合併協議会での職員定数管理は、10年後140名の職員を目指す決定をしている。合併後4年が経ち、現在182名の職員がいるが、今後6年間で退職者は約60名の予定だ。単純に引くと122名となり、140名を確保する場合には、18名の採用が必要になる。今後

長谷川

今後5年間の職員採用計画を公表する考えはあるのか。

今後、行革委員会で再検討し、これから6年間のしっかりと計画を待って、その内容についてはある程度公表したい。合併10年後の職員数もある程度出す時期とも思っている。

来年の職員採用は

町長 ▼ 4名〜5名採用予定



職員採用試験案内

一般質問

乳幼児医療費助成の引き上げは

町長 ▶ 来年4月から小学6年生まで

長谷川

5月7日の徳島新聞の調査では、近隣のつるぎ町・美馬市では小学校6年生、三好市は本町と同じ小学校3年生まで乳幼児医療費助成をしている。再選された町長の新しい町への主張の中では、小学校6年生までの医療費無料化をあげてい

る。実施時期はいつを予定しているのか。

町長

9月議会にシステムの改修なりの追加予算を提案し、来年度4月1日から小学校6年修了まで医療費無料化を進めていきたい。



加茂小学校体育館の完成予定は

教育長 ▶ 来年2月下旬に完成



工事中の加茂小学校体育館

長谷川

平成22年
3月議会で

加茂小学校体育館の改築
予算が計上された。改築
計画が進んでいると思っ
が、体育館の建設日程、
完成予定はどうなってい
るのか。

教育長

6月16日
に6社によ

る入札を予定しており、
18日の議会最終日に承認
をいただいで、すぐ発注
したいと思っている。完

成については、2月の下
旬となり、3月の卒業式

は新しい体育館で迎えら
れると考えている。体育
館の規模については、敷
地面積等の制約もあり現
在の体育館より少し大き
めという形になってい
る。また、地域の防災避
難場所ということで設定
している、その機能
も最小限併せ持つ体育館
にしたいと考えている。

口蹄疫の対策は

産業課長 ▼ 既に3回の対策会議を実施

長谷川

宮崎県で
口蹄疫が発

生して社会的大問題に
なっているが、町内の畜
産農家と牛・豚等の飼育
数はどのくらいなのか。
また、本町の口蹄疫への
取り組みはどのように
なっているのか。

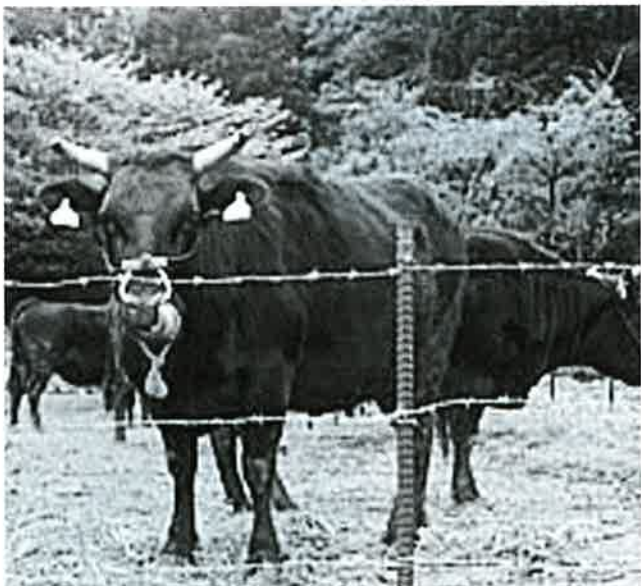
産業課長

町内には、
乳牛飼育農

家が4戸あり約140
頭、肉牛が8戸で約97
0頭、養豚が1戸で約2
50頭飼育されている。
さらに、養鶏の採卵農家
が2戸で約1,500羽、
ブロイラーが1戸で約

口蹄疫の対応は大丈夫？

8,000羽が飼育され
ている。既に県畜産課、
市町村、JA・共済組合
が集まり3回の対策会議
を開催した。県内で発生
した場合には、知事を本
部長とする危機管理対策
本部が設置され、家畜保
健所に現地対策本部が設
置される。家畜保健所指
導のもと協議するよう
なる。町の体制について
は、動員要請があった場
合に備えて消防防災担当
と協議して職員配置表を
作成している。口蹄疫が
発生すれば、鳥インフル
エンザの対策本部の要
領、設置に準ずる対応を
したい。



町営バス路線の変更を

企画課長 ▼ 早急に検討する



よこせき 横関
あきよし 秋義 議員

横関秋

旧三好町
時代には、

足代東部に町営バスの伊月というバス停があって、伊月地区、宮ノ岡地区の方が利用していた。しかし、合併後、平成19年10月からバス路線を三加茂庁舎まで延長したときに運行経路が変わり、伊月のバス停がなくなった。現在バスは、三三大橋を北に直進し、クボタ三好営業所から県道鳴門池田線を池田方面に左折している。一番近いバス停がクボタ三好営業所前にしかないため

に、伊月地区、宮ノ岡地区の方は非常に不便になった。元の運行経路に戻せないものか。

企画課長

議員の指摘の通り、

伊月地区の住民の方には負担をかけている。今後、地域では高齢化も進むということもあり、何らかの対策を考えなければならぬと考えている。対策のひとつとして、元の伊月のバス停を復活

させ、バスを三三大橋北詰から側道を東進してマナベ自動車の方へ回るコースにする。もう一案は、三好市に協議を持ちかけ、伊月地区にバス停を設置し、東みよし町内でも三好市営バスで乗り降りできる箇所を作って住民の交通の利便性を上げる方法も考えている。どの案にしても、いろいろな課題があるが、早急に検討したい。



町営バス

オアシスに本格的な温泉を

町長 ▶ オアシスの維持管理を優先

横関秋

吉野川オアシスは、開業以来10年が過ぎた。年間の入場者が100万人を超え、美濃田の湯も多くの方に利用していただいている。美濃田の湯では、地下水を汲み上げて風呂に使っているが、温泉でないために物足りなさを感じている方もいるようだ。温泉を使っている三野町の紅葉温泉や讃岐の環の湯へ通っている方も多くいる。そこで、オアシスでも温泉を掘って、本格的な温泉施設にしてはどうか。そうすれば、もっと交流人口も増えるのではないか。

町長

四国では、1,000mから1,500mくらい下に掘れば温泉が出るといわれている。経費

も1億から1億5,000万円かかるようだ。温泉にすれば、利用者には喜んでいただけるが入湯税の問題もあるし、施設の改修、利用者がどのくらい増えるのかも検証しなくては行けない。オアシスもオープンから11年目を迎えている。これからメンテナンスなど修繕が増えてくると思う。過疎債で積み立てた資本金3億1,500万円はあるが、償還がすんで資本金を減額すれば、それを基金としていろいろな事業ができる。しかし、温泉などの事業を優先するよりも、町の宝であるオアシスの維持管理を優先したい。温泉については、検討させていただく。



オアシス 美濃田の湯



まさやま こういち
横山 幸一議員

自主防災組織の結成率は

総務課長 ▶ 148自治会のうち45自治会で結成

横山

町内の自主防災組織を平成22年度末までに100%にするとのことだが、結成状況はどのくらいなのか。また、組織はできても年に2回くらい、例えば5月の一斉清掃の時や9月の防災の日に炊き出し訓練をすとか、消火訓練をすとか過去の災害を参考に訓練していただきたい。そして、いつまでも続くように実費経費を出せないものか。

総務課長

町内に148自治会あり、45の自治会で自主防災組織が結成されている(30.4%の組織率)現在、未結成の72自治会の自治会長さんに直接会って、説明会のお願いをしているところだ。今後の結成に向けて努力していきたい。

町長

自主防災組織の結成については、来年春までに100%を目指すと言っていたが、昨年の新型インフルエンザなどの対応に追われて、予定よ

り遅れている。現状の進捗では100%達成できない状況で、深くお詫び申し上げる。自主防災組織への補助は、50世帯まで1万円、それを越せば1戸当たり200円追加して活動費として出している。議員各位にも、地元で組織の結成についての協力をお願いしたい。



自主防災組織の消火訓練

一般質問

横山

5月2日
から8日に

かけてパラグライダーのアジア選手権が開催された。水の丸を離陸基地として、テイクオフイベントも盛大に行われ、町にもいろいろと配慮していただけて無事に終了することができた。出席した知事を含めて来賓の方も水の丸の景色のよさに感動されていた。大会も無事に終わり、整備された設備をパラグライダーの

パラグライダーを通して観光交流を 町長 ▼ 活動の輪を広げてから応援したい

大会だけに使うのはもったいないというところで「東みよし町空飛びの会」をつくった。何年か後には、無料体験講習会やタンDEM飛行(2人乗り)を行い水の丸を観光の拠点、関西の人に東みよし町の空を飛んでもらいたいと考えている。そのための支援をしていただきたい。

町長

パラグライダーは、まだまだ一般に知られていない、一部の愛好家のスポーツだと思う。野外スポーツなりいろいろな交流には応援したい。ぶぶるパークについては、どんどん他のスポーツクラブと打ち合わせて利用してほしい。スポーツや文化団体がやる気を出して頑張る、それを町が応援していくのが好ましいと思う。



大空を飛ぶパラグライダー

女性特有のがん検診の利用状況は

健康づくり課長 ▶ 町が実施する無料クーポン券事業で対応



ふこば 横関 道恵議員

横関道

東みよし 町の子宮頸がん・乳がん検診の利用状況・受診率はどのようになっているのか。

町では、

健康づくり課長

集団検診に

よる子宮頸がん検診を20歳・25歳・30歳・35歳・40歳の節目の女性を対象に、乳がん検診については、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の女性を対象に無料クーポン券を配布して検診を実施している。子宮頸がんの対象者総数は、447名で、受診した方は67名。受診率



妊婦検診

健康づくり課長

子宮頸がんの受診方

は15%。乳がんの対象者総数は567名で、受診した方は132名。受診率は23.3%。

横関道

集団検診以外での受診

法については、町で行っている集団検診と、広域で行っている医療機関名の記載紙を子宮頸がんクーポン券と一緒に同封して、個人送付している。各自が日程を選んで行っているという状況だ。

子宮頸がんワクチンの公費助成への考えは

町長 ▶ 今後の検討課題にしたい



子宮頸がんワクチン

横関道

子宮頸がん予防ワクチン接種への自治体による公費助成が広がっている。予防ワクチンは、半年に3回の接種が必要で、費用は合計で5万円前後かかるようだ。しかし、接種は自己判断に任せられ、原則自己負担のため経済的理由から接種を断念する人が多いのが現状だ。ワクチンを12歳に接種した場合、発症率・死亡率をいずれも73%も減らせることができ、30歳の女性にワクチンを接種した場合でも、発症を半分に減

らすことができる。予防できるがんとして、予防ワクチンの公費助成への町の対応はどのように考えているのか。

町長

県内各町村でもいずれ動きがでてくうかと思うので、町としては具体的な中身を把握し、情報を集め勉強、検討してから答えを出していきたいと考えている。

横関道

川議員 長谷

小学生の医療費無料化について

の質問によって小学6年生までの医療費無料化については、町の方針が4月1日から予定計画があるとの答弁があったが、私からは、中学3年生まで引き上げての実施の検討を要望する。



▶ 元気な子どもたち

町内の産科・婦人科の病院について

町長 ▶ 町に病院の誘致は難しい

横関道

町内に産科の病院が一軒もなく、子どもを生む方は町外の病院へ通院、入院している。子育て支援の観点から町はどのように考えているのか。

健康づくり課長

婦人科は、1医療を週1回おこなっている。町の対応としては婦人科、産科が不足する中、妊婦に対しては妊娠届け時や町が交付する妊婦検

診受診表の結果内容の情報により、保健師による保健指導を行い、地域の健康教育の中で、女性の心身の健康についての普及啓発活動、相談事業を行っている。

町長

産婦人科の先生、婦人科の先生を町が誘致しても、採算の問題、経費の問題で難しいと思う。地域医療を考える会や県のほうへも心配のない医療体制をお願いしていきたいと思っている。



町内にある病院の婦人科待合室

高齢者へ火災警報器の補助は

町長 ▶ 検討する



なかがわ しろし 中川 祐司議員

中川

近年になって住宅火災が急増していること、そして、亡くなった方の死因の多くが逃げ遅れで、高齢者の割合が非常に高いという背景から消防法の改正が行われた。今後の高齢者社会への懸念も踏まえ、火災時の逃げ遅れによる被害者の数の減少を目的として、2006年6月から全ての住宅への火災警報器の設置が義務付けされた。三好市、東みよし町でも来年6月1日より義務付けされる。そこで、町内の火災の発生状況について、また、町営住宅、町施設への火災警報器の設置状況はどのようになっているのか。

総務課長

東みよし町では、平成21年中に発生した火災件数は6件、三好市では14件。その内火災による死亡者が本町では2名、三好では1名。今年になってから発生した火災は、本町では既に5件、三好市では4件発生している。本町の5件の内、火災による死亡者が1名。町営住宅などへの火災警報器の設置は、本年度末には全戸設置の予定となっている。今後は、防火対策の



住宅用火災警報器

徹底を図るよう、さまざま対策に取り組んでいきたい。火災警報器の普及については、6月1日に開かれた自治会長会の席上で、自主防災組織の結成のお願いと火災警報器の設置のお願いをしたところだ。

中川

昨年三好市では、75歳以上の家へ3,000円を上限として火災警報器設置の補助をしている。400万円の予算で、1,100戸の高齢者の世帯へ設置したということだ。本町でも火災警報器の設置補助をしてはどうか。

町長

自治会長会でも同様の質問があったが、その時点では検討していないという返事をした。三好市でも実施しているし、火災による被災者も続いているので、火災警報器設置補助を検討したいと考えている。

議会を傍聴
しませんか

皆さんが選んだ代表が
議場でどんな発言をして
いるのか自分の目と耳で
お確かめ下さい。

どうぞお気軽にお越し
下さい。

定例会は年4回(3月・
6月・9月・12月)に開
かれます。

日程・手続き等は議会
事務局へお問い合わせく
ださい。

TEL 82-6317



次の定例会は
9月中旬です。

議会の傍聴



足代老人クラブ、長寿会
(会長 真鍋勝さん)7名
の皆さんが、議会の傍聴に
こられました。川原町長に
よる議案の提案理由の説明
や、5名の議員による一般
質問に興味深く見られてい
ました。

東みよし町 議会だより
第 17 号

まちの 人

●シリーズ8●

仲良し

東みよし町のファミリー



高橋ファミリーの紹介

としろう
パパ 俊朗さん (51歳)
ママ みゆきさん (48歳)
ゆな
結南ちゃん (4歳)

問 二人の出会い?

俊朗さん 当時勤めていたバイクショップ
に、みゆきさんがお客として来店
したときに知り合いました。

問 お互いの第一印象は?

俊朗さん 楽しい雰囲気にしてくれる人だ
と思いました。
みゆきさん 無口だけれどもやさしい人だ
と思いました。

問 結婚してよかったと思うことは?

俊朗さん いつもやさしい笑顔で接してくれること。
みゆきさん 結婚して15年目に娘を授かったことです。

問 町での生活はどうか?

みゆきさん ホタル、猪・など都会にはない自然がいっぱいあるところ
で住め、近所の方もやさしい人ばかりなので、毎日が楽しい
です。

問 町に望むことはありますか?

みゆきさん 周りに糖尿病の方が多いため、生活習慣を見直すイベン
ト(簡単に参加できて、楽しむ事ができる)がもっとあ
ればいいと思います。

編集後記

▼4月に町議会議員に初当選をさせて頂
いてから、早や8月となり、阿波踊りの
お囃子の音が心をうきうきさせる季節と
なりました。議員になってから、臨時議
会・定例議会・一般質問・研修会・委員
会など体験するすべてが初めての事で、
戸惑いながら、また、教えて頂きながら、
あつという間に過ぎた4カ月でした。ま
た、この間に国政を左右する参議院の選
挙があり、議員の職責の重さ、大変さを
改めて思い知りました。

▼広報特別委員会の一員として、議会だ
よりの編集に携わっていますが、この第
17号は汗をかき、試行錯誤しながら作っ
てみました。皆様の忌憚のないご意見ご
要望をお聞かせ頂ければ幸いです。

▼まだまだ暑い日が続きますが、お身体
に気をつけてお過ごしください。

広報特別委員会

副委員長 横関 道忠

発行 東みよし町議会
編集 広報特別委員会

〒779-4701 徳島県三好郡東みよし町加茂 3360
TEL 0883-82-6317 FAX 0883-82-6318
http://www.town.higashimiyoshi.lg.jp/gyosei/gikai.html
印刷 (有)加茂印刷